



二村たか子からのお知らせ

まちの声

赤坂字紅里26 電話&FAX: 87-4453

E-mail: aai96240@pop06.odn.ne.jp

ご意見をお寄せ下さい。町政に関することなど、皆さんの声も掲載したく思います。



合併協議の申し入れが正式になされ、豊川市長は議会や、市民と相談しながら話し合うと答えた。音羽と単独で協議するより、残る2町の動向も見据えた動きは県も考えていることで、豊川と宝飯郡の一体化を考えると、出来るだけ無駄な経費を使わずに、整ったら良いなと考えます。

合併について考える

愛知県の中で経済や流通、発展の度合いが、西高東低といわれて久しい。東には浜松市が大きな塊となり地域づくりを始め、豊田、岡崎市も大きくなって動き始めている。両地区にはさまれ、この東三河地区を将来どういう地域にしたいのかの方向性が定まっていけないのはなんとも言いがたい。

豊川市との合併が決まっても生活基盤はなんら大きな変化は見られず、もうひとつ大きな枠組み作りをして、将来に夢の持てる地域づくりが必要と考えます。

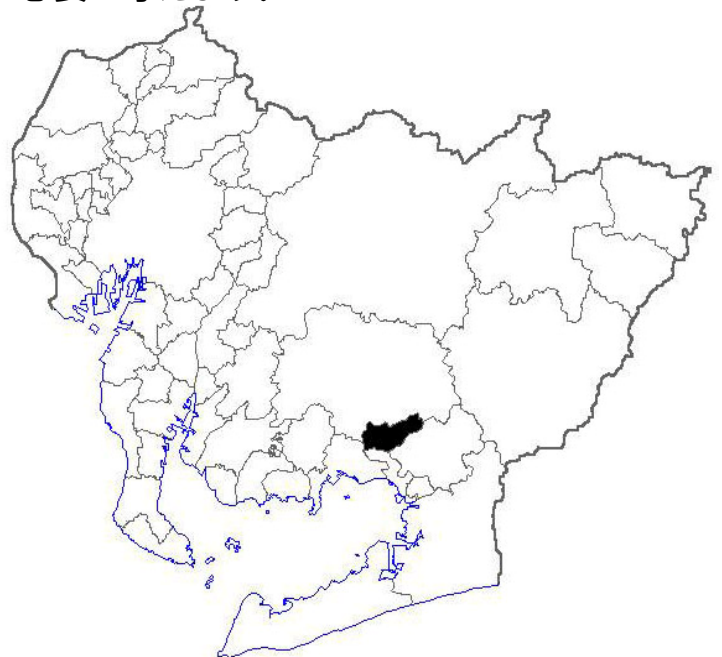
私たちは地域で、お金と愛情を注いで、子育てをする。

立派な社会人になると、職場がないためにより大きな都市へ、出て行かざるを得ない。

この地域で住み続けられるような、戦略的構想を練るには、東三河の一体化が不可欠と考えます。

この地域のリーダーたちが話し合いを進めるとき、小さな自治体が整備できる社会基盤はおのずから限界があります。

私たちは余りにも「井の中の蛙」状態にあるのでは？



二村 良子の一般質問

質問1 合併が推進される中、町が取り組む課題と対応策は

合併しても地域に住む人が知恵を出し合って住みたい町づくりに参加するためのシステム作りを、高浜市の地域内分権で予算をつけて、防災、子育て支援、障害者支援など身近な問題に地域の人に参加できるよう町は講座や対応策を。

合併推進する際に豊川音羽のサービスの差、たとえば問題視されている自校方式の給食や公民館の制度の違いはどうするのか

町長 答弁

高浜市のことは承知しないが当町は十分講座が行われている
社会福祉協議会や公民館でまちづくりの講座は開かれている。

皆さんから要望があれば、出前講座には応じる。サービスの差は前の協議会でおおよそ話し合われている。

協議が始まってからと認識している合併で新しいことが決まれば説明責任を果たす。



質問2 多重債務者の相談窓口と救済策は

全国に約200万人、当町にも約150人以上いることになる。この問題は自己責任と片付けていられない、自治体運営にも多くの関係がある。たとえば税の滞納、離婚の増加、児童虐待や、家庭内暴力の大きな原因となっているといわれる。現実には悲惨な例が町内でもある。

多重債務に陥ってしまったら、先ず相談すること、そのための受け皿づくりを町にやって欲しい。また、県の社協が福祉資金の貸し出しや緊急小口資金の貸し出しなどしているが時間がかかる。さらに使い勝手が良くなるよう町独自で出来ないか

①相談窓口は ②多重債務に陥らないように広報に工夫を ③中学校での教育は

町長 答弁

社会福祉協議会で相談窓口をもうけている。心配事相談毎月2回、うち年4回は弁護士が担当している。多重債務の相談件数は平成15年2件、16年3件 17年3件であった。窓口サービスは今後研究していくし、ピーアールしていきたい。

年1回ぐらいは町の広報での掲載も考えていかざるを得ないと思う。

小中学校では消費生活などで教えているが多重債務の件は教えていないが、県の消費生活談・県民プラザより消費教育ビデオを借りて利用している。町独自の貸し金は無理。

多重債務で死なないで！！

- ①先ずは相談する、行政の窓口、県民プラザなど、家族に内緒にしない
 - ②生活福祉資金の貸付制度や生活保護制度があることを知り、行政に相談すること
 - ③人でも出来る任意整理や裁判所の手続きで、特定調停という方法を知ること
 - ④司法書士、弁護士への相談、本で方法を知ること、
- 注意！今多重債務を1本化して、整理すると誘う悪徳業者もいる。さらに窮地に陥ることがある、相談は信用できる場所を選ぶ。

18年度の音羽町の予算で注目したこと。

18年一般会計・・・28億4400万円 殆ど義務的経費で、基金も3億ぐらいに減ります。国の交付税や交付金の減額により厳しくなりました。

国保など3会計の合計・約18億7000万円・・・去年より 3.4億円の増加
公共下水道会計・・・約 3億1300万円

頑張っている水道課！！

(地域再生法による交付金を受けるのに成功。着実に基盤整備が出来ています)

＊平成20年までに普及率80%、整備人口約6600人(町の人口約8900人) ちなみに県下平均62・5%、豊川市62・8%、小坂井町67・2%、前一宮町31・6%、御津町は80・6%です。

＊赤坂台配水池の建替で災害時にも安心した生活基盤になります。1億700万円の工事で、送水管、配水管も新しくなります。

議員活動での提案・・・日ごろ考えること

○ 町のあちこちで花が咲きます。

萩のミツバツツジを見たり、赤坂の内山(音羽中学校の南の山あい)を花木のいいます) 雪柳や桃の花を見たりして散歩を楽しみましょう。4月の半ば以降になると、関川2号公園横(お菓子のパリポリ近く)の畑でチューリップが咲き乱れます。畑の中に入って見せてもらえたと思います。

みやじ山のドウダンツツジの白い花もかわいいです。

○ 会派で議員定数削減の話し合いがされています。

○ 市町村振興協会新宝くじ交付金

音羽町にも522万円が交付され一般財源として使うことが出来ますが、三好町の議員さん等が監査請求を出しましたという記事を中日新聞で読んだ方も見えると思います。

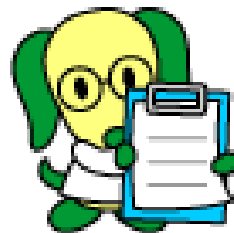
サマー、やオータムジャンボ宝くじの収益金を原資としており、全国で1兆円を超える基金をためていることや、ジャンボ宝くじの収益金は政令指定都市を除く全国の市町村が最終的に受け取る権利を持つ。各都道府県は按分で受取った収益金を議会の承認後、各都道府県にある市町村振興協会に交付する。

市町村振興協会は受領した交付金を市町村に再配分する義務を持ちながら、その機能を果たしていないという内容の監査請求でした。



二村 良子の議員活動と自己研鑽

- 1月15日 豊橋中央図書館・・・図書館活動とは・・・田原図書館長・東京学芸大学教授の講演
17日 広報編集委員会
19日 粟東市議会、広報編集の視察に来訪。共に研修
21日 男女共同参画フォーラム・・・豊川市文化会館
23日 議員勉強会
24日 合併に関する県主催の音羽町地域懇談会を傍聴（住民代表が意見を述べる）
25日 県庁にて、合併支援室で今後の県の対応を聞く。
26日 立科町議会、広報編集の視察に来訪。共に研修
28日 赤坂小学校音楽発表会に、小さな児童たちが立派に太鼓や器楽演奏、合唱をする。
毎年レベルが上がっているように感じる。拍手！
29日 田峯の小屋掛け見物
- 2月 1日 NPO会議
3日 山城町議会、広報編集の視察に来訪。共に研修
4日 女性議会ネットの勉強会。
6日 議員勉強会
10日 養老町議会、広報編集の視察来訪。共に研修
11日 公民館祭り、皆さんの作品展示を拝見、ボランティアの方々のコーヒーとケーキでひと休み。
12日 田峯歌舞伎鑑賞、（子ども歌舞伎の熱演に観客が熱い声援を送る。
15日 長泉町議会、広報編集の視察に来訪。共に研修
16日 広報研修、全国町村会主催。
17日 松伏町議会研修
20日 音羽農業の抱える問題を話し合う。
22日 政策部会
24日 議員勉強会 御津の斎場会館視察。（葬祭場も用意されている。）
- 3月 1日 議員勉強会
2日 議会運営委員会後、予算の勉強会
5日 戦没者慰霊祭
6日 議員勉強会
7日 音羽中学校卒業式、夢を見つけて、足元を見ながら実現への努力を、命を大切に、周りを
思いやる心を持って！羽ばたいて欲しい。
9日 3月議会 条例、補正予算の審議
10日 一般質問、二村2問質問
13日 総務常任委員会、会議室にて傍聴
14日 産業建設委員会、広報編集委員会
16日 予算特別委員会
20日 赤坂小学校卒業式。議員有志での市民農園についての話し合い。
23日 本会議、委員長報告18年度予算賛成多数で議決。
24日 赤坂保育園卒園式。大きな声で返事が出来て、かわいい紳士淑女の卒園式でした。
幸多かれ！



後援会ご入会の案内

「二村良子を囲む会」の会合を月1回実施お互いの情報交換や
町政への夢、町づくりなど 話題は多岐にわたります。